平成２９年度 事業報告書

事業年度　平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日

学校法人 聖マリア学院

St.Mary's Educational Foundation

Fides 【 信仰 】

Spes 【 希望 】

Caritas 【 愛 】

～　連綿と受け継がれる「カトリックの愛の精神」　～

聖マリア学院の歴史の源泉は、大正４年、井手内科医院の開設にはじまります。その院長、井手用蔵は熱心なカトリック信者で、貧しく医療に恵まれない人々を長年に亘り支援してきました。

学校法人聖マリア学院の創設者である、初代理事長の井手一郎は、父・用蔵の志を継ぎ、後の本法人設立母体となる、医療法人雪ノ聖母会　聖マリア病院（現・社会医療法人雪の聖母会　聖マリア病院）を開設し、その基本方針を、カトリックの愛の精神に基づく医療と教育の普及としました。

本学院の教育理念が、カトリックの愛の精神に基づく教育研究の実践である所以であり、その精神は、現在に至るまで連綿として受け継がれています。

信　望　愛

St.Mary's College
聖マリア学院大学

目次　～Contents～

Ⅰ．法人の概要

1．法人の概要
2．建学の精神
3．教育理念
4．沿革
5．役員・評議員
6．設置する学校・学部等
7．入学定員及び学生数
8．教職員
9．聖マリアグループ

Ⅱ．事業の概要

1．基本方針
2．平成２９年度に実施した主な事業内容
3．平成３０年度入試結果（平成 29 年度実施／平成 30 年 4 月入学者）
4．卒業生の主な進路状況
5．国家試験の合格状況
6．学年暦

Ⅲ．財務の概要

1．学校法人会計の概要及び企業会計との違い
2．「資金収支計算書」の概要
3．「事業活動収支計算書」の概要
4．「貸借対照表」の概要
5．有価証券・特定金銭信託の時価情報
6．主な施設設備の整備状況
7．主な事業計画履行状況
8．大科目の経過年度比較表
9．主な財務比率の経過年度比較表
10．平成２９年度決算総評

Ⅰ．法人の概要

1．法人の概要

法人名	学校法人聖マリア学院 （St.Mary’s Educational Foundation）
代表者	理事長　井手 三郎
所在地	〒830-8558　福岡県久留米市津福本町４２２番地
電話番号	０９４２（３５）７２７１
設立年月日	昭和５７（１９８２）年１１月５日

2．建学の精神

カトリックの愛の精神

主イエス キリストの限りなき愛のもとに、常に弱い人々のもとに行き、常に弱い人々と共に歩むことです

3．教育理念

聖マリア学院大学は「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究を行って、豊かな人間性と深い教養を具え、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を養い、広く人間社会の健康に寄与できる篤実有能な人材を育成することを目的としています。

4．沿革

昭和 27（1952）年　医療法人雪ノ聖母会　設立
（後の学校法人聖マリア学院設立における母体となる法人）
（平成 21 年より「社会医療法人雪の聖母会」に法人格変更）
昭和 28（1953）年　医療法人雪ノ聖母会　聖マリア病院　開設
昭和 48（1973）年　医療法人雪ノ聖母会
聖マリア高等看護学院第 2 科看護専門課程　設置
（後に聖マリア看護専門学校へと改組）
昭和 51（1976）年　医療法人雪ノ聖母会
聖マリア高等看護学院第 1 科看護専門課程　設置
（後に聖マリア看護専門学校へと改組）
聖マリア高等看護学院を聖マリア看護専門学校と改称
昭和 57（1982）年　学校法人聖マリア学院　設立
（聖マリア看護専門学校の設置者を医療法人雪ノ聖母会から移譲）
昭和 59（1984）年　聖マリア看護専門学校に保健学科、助産学科　設置
（後に聖マリア学院短期大学へと改組）
昭和 61（1986）年　聖マリア学院短期大学　看護学科　開学
（後に聖マリア学院大学へと改組）
平成元（1989）年　聖マリア学院短期大学に専攻科（地域看護学専攻・助産学専攻）　設置
平成 2（1990）年　同上地域看護学専攻に国際看護コース　開設
平成 7（1995）年　聖マリア学院医療福祉専門学校　介護福祉学科　開校
平成 18（2006）年　聖マリア学院大学　看護学部　開学
平成 21（2009）年　聖マリア学院短期大学（看護学科・専攻科）　閉学
聖マリア学院医療福祉専門学校　介護福祉学科　閉校
平成 22（2010）年　聖マリア学院大学大学院看護学研究科　開設
平成 25（2013）年　聖マリア学院大学に専攻科（助産学専攻）　設置

5. 役員・評議員

平成３０年３月３１日現在

○理事／定員：６～８名　　現員：６名　　任期：３年

区分	氏名	選任条項
理事長	井手 三郎（イデ サブロウ）	理事の互選
理事（常勤）	井手 三郎 （イデ サブロウ）	学長
理事（常勤）	井手 信 （イデ ノブ）	評議員
理事（非常勤）	黒岩 中 （クロイワ アタル）	評議員
理事（非常勤）	ドーボン・マーゲリーテ	評議員
理事（非常勤）	牧山 強美（マキヤマ ツヨミ）	学識経験者
理事（非常勤）	青木 清 （アオキ キヨシ）	学識経験者

○監事／定員：２名又は３名　　現員：２名　　任期：３年

区分	氏名	選任条項
監事（非常勤）	山田 隆 （ヤマダ タカシ）	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任
監事（非常勤）	永松 雄一郎 （ナガマツ ユウイチロウ）	理事会選出候補者のうち 評議員会同意、理事長選任

○評議員／定員１３～１７名　　現員：１５名　　任期：３年

氏名	選任条項
井手 三郎 （イデ サブロウ）	法人職員
石井 和弘（イシイ カズヒロ）	法人職員
安藤 満代 （アンドウ ミチヨ）	法人職員
井手 悠一郎 （イデ ユウイチロウ）	法人職員
下川 さえ子 （シモカワ サエコ）	卒業生
日高 艶子 （ヒダカ ツヤコ）	卒業生
井手 健一郎 （イデ ケンイチロウ）	実習施設職員
橋口 ちどり （ハシグチ チドリ）	実習施設職員
中島 成子 （ナカシマ シゲコ）	実習施設職員
島 弘志 （シマ ヒロジ）	実習施設職員
井手 信 （イデ ノブ）	学識経験者
上野 正二 （ウエノ ショウジ）	学識経験者
黒岩 中 （クロイワ アタル）	学識経験者
廣田 良夫（ヒロタ ヨシオ）	学識経験者
ドーボン・マーゲリーテ	学識経験者

6．設置する学校・学部等

聖マリア学院大学　　看護学部／専攻科 助産学専攻
（St.Mary’s College）
所在地：福岡県久留米市津福本町４２２番地

聖マリア学院大学大学院　　看護学研究科
（The Graduate School of St.Mary’s College）
所在地：福岡県久留米市津福本町４２２番地

7. 入学定員及び学生数

平成２９年５月１日現在

○聖マリア学院大学

学部・学科	年次	入学定員（収容定員）	編入定員（収容定員）	入学者数	在籍者数
看護学部（４年課程）	1	100	***	111	114
	2	(100)	***	***	111
	3	(100)	***	***	115
	4	(100)	***	***	109

合計	収容定員	400	在籍者数	449

○聖マリア学院大学専攻科

学部・学科	年次	入学定員（収容定員）	編入定員（収容定員）	入学者数	在籍者数
助産学専攻（１年課程）	1	15	***	10	10

合計	収容定員	15	在籍者数	10

○聖マリア学院大学大学院

研究科	年次	入学定員（収容定員）	編入定員（収容定員）	入学者数	在籍者数
看護学研究科（２年課程）	1	12	***	5	5
	2	(12)	***	***	19

合計	収容定員	24	在籍者数	24

在籍者数合計	----------	483

8. 教職員

平成２９年５月１日現在

○教員

	聖マリア学院大学 看護学部	聖マリア学院大学大学院 看護学研究科
教　授	11	11（併任）
准教授	7	7（併任）
講　師	8	8（併任）
助　教	5	0
助　手	7	0
合　計	38	26（併任）

○職員

	法人本部 事務局	聖マリア学院大学 看護学部
職　員	2	17
臨時職員	0	0
合　計	2	17

※上記の他、法人本部事務局長が聖マリア学院大学より兼務

9. 聖マリアグループ

○社会医療法人雪の聖母会

聖マリア病院・聖マリアヘルスケアセンター

昭和２８年の開設以来、「カトリックの愛の精神」に基づいた保健医療活動を行っており、聖マリアグループの中核を成す法人です。救命救急センターを中心として、地域に根ざした医療を目指す総合病院として、４１診療科、１，０９７床の聖マリア病院を運営しております。

平成２６年１０月には、回復期リハビリ病棟・療養型病棟、人間ドッグ・内視鏡センター、透析センターの３部門（５診療科）から構成される聖マリアヘルスケアセンター（１９８床）を開院しました。

○公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

平成２１年４月に、財団法人九州産業衛生協会と福岡県対がん協会が合併し発足しました。

従来、九州産業衛生協会が行ってきた、労働・環境衛生や人間ドックなどに加え、がん検診と予防に関する啓発活動などを行い、人々の健康づくりと福祉の向上への貢献を目指しています。

○社会福祉法人平和の聖母

作業能力を持ちながらも、雇用されることの困難な障害者の方の社会活動への積極性をお手伝いする障害者支援施設「ウェルフェアマリア」、「まちづくりワークショップマリア」や高齢者向けの施設「ケアハウスメゾンマリア」「デイサービスセンターメゾンマリア」などの運営を行っています。

平成２９年１月には、１８名収容の認知症高齢者グループホーム「グループホームメゾンマリア」を設置し、専門スタッフによるケアを実施しております。

○株式会社サンループ

聖マリアグループにて蓄積した医療現場での経験と実績を基に、人材派遣・業務請負・紹介予定派遣・人材紹介事業を行っています。

また、医療現場が直面しているさまざまな課題解決のための医療コンサルティングも実施しています。

○特定非営利活動法人　ＩＳＡＰＨ（アイサップ）

聖マリア病院の長年にわたる国際協力活動から生まれました。

それまで、聖マリア病院で実施してきた国際協力活動の手法を活かして新たな活動を展開するＮＰＯ法人です。

ラオス（東南アジア）やマラウィ（アフリカ）を中心に、地域保健活動、災害救急医療支援、保健人材育成支援などを行っています。

○学校法人ありあけ国際学園

保健・医療・福祉分野の経営を担う人材を育成することを目的とした「保健医療経営大学」を運営しております。幅広く活躍できる能力が修得できる充実したカリキュラムや、１０万㎡（３万坪）という広大な地にゆとりある空間がちりばめられたキャンパスも魅力のひとつです。

○雪の聖母会健康保険組合

聖マリアグループ各法人（一部を除く）に勤務する職員同士の相互扶助を目的に、平成２０年１２月に発足しました。

病気やけがをしたときの生活保障となる「保険給付」、日頃の健康増進を目的とした「保健事業」を展開し、職員間の生活上の不安を少しでもなくしていけるよう努めています。

Ⅱ．事業の概要

1．基本方針

大学をはじめとする高等教育機関を取り巻く状況は、主として学齢人口の減少に伴う競争的環境下に置かれ、各機関は教育・研究組織としての経営方針・戦略を明確化し、内外に示していくことが求められております。

教育・研究と、経営・管理の両軸が相互に有機的に機能し、中長期的視野に立ったより実践的な目標の明示と、それを実現する組織的行動、また、効果的な点検・評価体制の確立が必須となっているものです。

このことは、今後、ますます多様化することが予想される学生のニーズに的確に対応するため、各大学等に期待される役割・機能を充分に踏まえた教育や研究の推進を図るとともに、社会との連携を推進しながら、個々の機関が、その個性・特色を一層明確にしていかなければならないことを意味しています。

本学院におきましては、設立理念 「カトリックの愛の精神」に基づく教育・研究の実践を堅持、継承し、“ student focused education（学生に焦点を当てた教育の実践） ”、さらには“ enrollment management（入学前～在学中～卒業後の一貫した総合学生支援策等） ”を主眼として、中長期事業計画（理事会・評議員会決議）を踏まえた各種事業に取り組んで参りました。

２．平成２９年度に実施した主な事業内容

平成２９年度は、聖マリア学院大学開学１０周年記念の各種事業を執行する１年間となりました。

９月には本学の教育の基礎となる「ロイ看護学適応モデル」の提唱者、シスター・カリスタ・ロイ博士をお招きしての講演会を開催、大学院棟で整備を進めていたメディアセンターにロイ博士のお名前を頂戴し、「ロイ・アカデミアホール」として開館しました。また、１０月には長年の構想の上に竣工した念願の新図書館も開館しました。

国際交流においては、昨年度開催したフランシスコ・ボランティアキャンプを本年度は本学が主体となって開催したほか、新たな取り組みにも挑戦しております。

以下に、「経営・管理」、「教育・研究」、「国際交流」及び「地域貢献」を枠組みとして主な事業項目の概要を示します。

①開学１０周年を迎えて

平成１８年４月に既存の短期大学を改組する形で聖マリア学院大学が開学し、昨年４月に１０周年を迎えました。

約１年にわたる準備期間を経て、「Misericordia et Caritas ～いつくしみと愛～」をテーマとした各種事業を通じ、本学の教育理念を具現化いたしました。

９月には本学の教育の基礎となる「ロイ適応看護モデル」の提唱者であるシスター・カリスタ・ロイ博士と、マサチューセッツ大学ボストン校教授のジャクリーン・フォーセット博士を招き、学術講演会を開催しました。久留米シティプラザで開催した本講演会は、学生・教職員・一般聴講者などで満席となり、大変有意義な講演会となりました。

同じ９月には、大学院棟１階に整備を進めていたメディアセンターにロイ博士のお名前を頂戴し、「ロイ・アカデミアホール」として開館しました。約８０名収容できるこのホールでは、大学院の講義や学術講演会などを開催するほか、本学の公式行事でも使用する予定です。

１０月には後述の新図書館を開館し、一連の事業が完了しました。

（左）ロイ博士／（右）ﾌｫｰｾｯﾄ博士

１０周年記念学術講演会で学生と

ﾛｲ･ｱｶﾃﾞﾐｱﾎｰﾙ ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞｾﾚﾓﾆｰにて

ロイ・アカデミアホール

②新図書館開館

９月１日の竣工式後、約１ヶ月間の準備期間を経て、１０月に念願の新図書館が開館しました。

外観は本を開いたような扇状の特徴あるデザインで、塔上にはキリシタン時代に長崎に存在したサンチャゴ病院の鐘をモデルとした「ミゼリコルディアの鐘」を設置しました。

新図書館は「建学の精神の継承」と「機能性の拡充」を具現化しており、１階には創設者・井手一郎先生の生涯と本学の歴史を年表形式で紹介するギャラリーを開設したほか、従前の図書館にはなかったキャレル（個席）・個人学修室・ラーニングコモンズを設置しました。

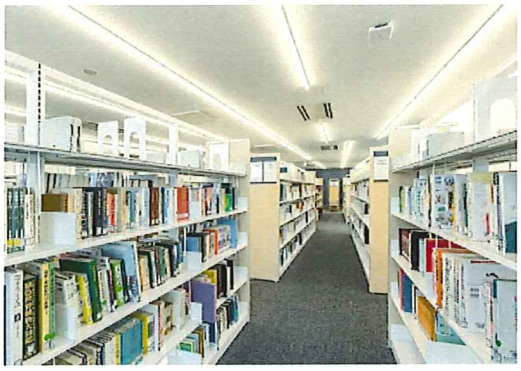
運用面においても、利用目的別にフロアを分別し、久留米市民の利用も可能とするなど、利用者の多様なニーズに応えられる図書館となっております。

図書館外観（夜）

ミゼリコルディアの鐘

ギャラリー

ラーニングコモンズ



書架

キャレルデスク

③被災地支援（ボランティア派遣等）

昨年度に引き続き、本年度も東日本大震災の被災地へボランティアを派遣しました。本年度は学生１３名を岩手県と宮城県へ派遣し、漁業・農業支援、コミュニティ支援などを行いました。

また、本年度は７月に九州北部の集中豪雨により、大規模な災害が発生しました。被災地である朝倉市・東峰村・日田市は久留米から近いこともあり、７月から８月までの間に４回にわたり、学生及び教職員を被災地へ派遣しました。

聖マリアグループ各法人の職員と合同で東峰村の災害ボランティアへ参加し、

救護及び土砂災害支援を行いました。

東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨と、日本国内では大規模災害が続いておりますが、本学の建学の精神に基づく社会貢献の取り組みとして、今後も続けて参ります。

福岡県東峰村にて

④まちなか保健室・ほっとステーションマリア

地域貢献の一環として久留米市内商店街の「一番街プラザ」に開設された、無料健康相談コーナー「まちなか保健室・ほっとステーションマリア」は、平成２１年２月の開設から９年を迎えました。

本年度の来館者数は延べ３，６０３名、相談者数は延べ５３１名となり、健康相談事業を週３日に固定された昨年度とほぼ同等の人数となりました。

一番街プラザにおける各種事業を関係団体で役割分担することで、商店街の活性化に寄与するほか、本学も健康相談事業を通じて、来訪者の健康意識の向上を図りたいと考えております。

ほっとステーションマリア

⑤国際交流

本年度も多くの国際交流活動が実施されました。

１）フランシスコ・ボランティアキャンプ

本年度、第２回目となるフランシスコ・ボランティアキャンプが、８月１６日～８月２３日の８日間、長崎市を拠点に開催され、日本・韓国・台湾・タイの４ヶ国から１７大学・８７名の教員・学生・スタッフが参加しました。

本学からは９名の学生が参加し、キャンプ開催中のグループリーダーや補佐役などに従事しました。各所での作業やグループでの活動を通じて、ボランティア受入施設の方や参加者同士の異なる文化的背景を越えた交流が生まれました。また、本キャンプと同時にローマ教皇庁福音宣教省次官を招いた参加大学の総長・学長による協議会も行われ、カトリック大学における交流事業について意見交換がなされました。

２）フィールドスタディ

フィールドスタディでは、毎年同様にフィリピンで実習を行い、３名の学生が現地で活動しました。

３）韓国からの学生受入れ

７月３日～７日に、釜山カトリック看護大学（ＣＵＰ）の国際看護実務実習として学生・教員計１１名を受け入れました。また１月１４日～１９日に、韓国カトリック看護大学（ＣＵＫ）及び仁川カトリック看護大学（ＩＣＣＵ）より学生・教員計１５名の日本研修を受け入れました。

いずれも本学での講義、聖マリア病院内での見学実習を行い、また交流会を開催し、本学の学生・教職員との交流を深めました。

４）ＪＩＣＡ「母子保健実施管理コース」

独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）の“青年研修事業”受託業務「母子保健実施管理コース」に３年連続で採択されたことから、１１月８日～１１月２０日に、アフリカ６カ国（ブルンジ、カメルーン、チャド、コートジボワール、モロッコ、セネガル）より研修生１３名を招いて研修を実施しました。日本における母子保健制度や助産教育に関する講義、論理的な問題解決の手法についてのレクチャーなどを行っており、参加者のほぼ全員から好意的な意見が寄せられました。また、研修中にナーシングキャリアカフェを実施し、本学学生、教職員との交流の場を設けました。

５）ＡＳＥＡＣＣＵ加盟

本年度より東南・東アジアカトリック大学連盟「ＡＳＥＡＣＣＵ」（The Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities）に加盟しました。本連盟にはアジア諸国の約７０大学が加盟し、日本国内でも本学を含めて１５大学が加盟しています。

６）アメリカ研修旅行

３月１１日から３月１８日まで、希望者参加のアメリカ研修旅行が行われ、１２名の学生が参加しました。姉妹校である Mount Saint Mary's University をはじめ、各施設の見学や学生との交流を行い、海外の看護や医療について見聞を深める機会となりました。

このように多岐にわたる本学の国際交流事業は、今後も本学における諸活動の核として継続してまいります。

フランシスコ・ボランティアキャンプ　　（左）開会式／（右）振り返り

⑥カリキュラムの改正

本年度の看護学部入学生から対象となるカリキュラムを見直しました。

今回の改正は「主体性を重視した教育への移行」と「保健医療福祉を取り巻く環境変化への対応」を主な目的としています。

大学教育において自ら学修計画を立て主体的学びを実践する意識、手法を身につける「初年次ゼミナール」、人体の構造と機能について演習形式で主体的に学ぶ「人体の構造と機能演習」、また、近年の保健医療福祉の動向を踏まえた「コミュニティ演習」「チームケアとナーシングリーダーシップ」など、新しい科目を設定しました。

今後も、社会の動向を踏まえて、より良いカリキュラムの構築を図ってまいります。

⑦公開講座の実施

例年開催している公開講座も１０年目を迎え、本年度も「よりよく生きる」をテーマに６回シリーズで開催しました。

本年度は本学教員による身近な疾病の予防法のみならず、訪問看護ステーション、医療機関、カトリック教会において、それぞれの現場で人のいのちに接する方々をお招きし、さまざまな視点から「よりよく生きる」ためのメッセージを

いただきました。

今後も、本学教職員が持つ知識をお伝えするだけでなく、さまざまな職種から視た「いのちの尊さ」や「慈しみと愛」についてお話しいただく機会を設けたく考えております。

第１回の様子

第５回の様子

平成２９年度公開講座実施内容

第１回／「よりよく生きる　―地域とともに生きるを支援―」
講師：ＮＰＯ法人たんがく　理事長　樋口千恵子 氏
第２回／「よりよく生きる　―地域とともに生きるを支援―」
講師：聖マリア病院　看護部長　中島成子 氏
聖マリア病院　副看護部長　橋口ちどり 氏
第３回／「よりよく生きる　―脳卒中予防１０ヶ条―」
講師：聖マリア学院大学　講師　小浜さつき
第４回／「子育て世代をよりよく生きる」
講師：聖マリア学院大学　准教授　浅野美智留
第５回／「よりよく生きる　―認知症を予防しよう―」
講師：聖マリア学院大学　講師　鮎川春美
第６回／「生と死　―安らぎと希望のうちに生きる―」
講師：日本カトリック神学院福岡コレジオ院長　森山信三 氏

⑧履修証明プログラムの開設

本年度から大学院に履修証明プログラムを開設しました。

履修証明プログラムは、社会人の方を対象に実施する人材養成目的に応じて必要な講習を体系的に編成した教育プログラムです。指定されたプログラムを修了することで、法律に基づく「履修証明書」を交付します。

本学では、「ＥＢＭデータ解析プログラム」を開設し、本年度は８名の方が履修されました。

履修証明プログラムは社会の方に学びの場を提供する社会貢献の一環として実施しています。引き続き履修証明プログラムを実施することで社会貢献を行ってまいります。

⑨外部資金の獲得状況

本学では外部研究資金獲得を全学的に励行しています。本年度も前年度に引き続き、多数の科学研究費を獲得しました。

■科学研究費補助金（文科）
採択　21 件　／　助成金額　8,161,000 円
（内、研究分担金　採択　13 件／助成金額　661,000 円）
■私立大学等経常費助成（国庫補助）
補助金額　96,010,000 円

3. 平成３０年度入試結果

平成 29 年度実施分／平成 30 年 4 月入学者

○聖マリア学院大学

＜看護学部看護学科＞

区　分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推 薦（系属校）	若干名	1	1	1	1
推 薦（指定校）	35 名	34	34	34	34
推薦（公募制：前期）		49	49	40	33
推薦（公募制：後期）	7 名	20	19	8	7
社会人	若干名	0	0	0	0
学士・短期大学士	若干名	3	3	2	2
一　般	44 名	143	140	91	37
センター利用（前期）	10 名	26	6	3	1
センター利用（後期）	若干名	2	1	1	0
合　計	100 名	278	253	180	115

＜専攻科助産学専攻＞

区　分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦	10 名	14	14	11	11
一般（前期）	5 名	6	6	2	1
一般（後期）		1	1	1	1
合　計	15 名	21	21	14	13

○聖マリア学院大学大学院

＜看護学研究科＞

区　分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一　般（秋期）	12 名	0	0	0	0
社会人（秋期）		0	0	0	0
一　般（春期）		0	0	0	0
社会人（春期）		5	5	5	5
合　計	12 名	5	5	5	5

４．卒業生の主な進路状況

○聖マリア学院大学

（平成３０年３月卒業生）

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	６３	聖マリア病院、久留米大学病院、九州大学病院、福岡大学病院など
県外病院	３０	東京大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院など
医療機関外	3	福岡県福智町、佐賀県鳥栖市、福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所
進　学	１１	聖マリア学院大学専攻科助産学専攻、アカデミー看護専門学校助産師科

○聖マリア学院大学専攻科助産学専攻

（平成３０年３月修了生）

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	7	聖マリア病院、福岡大学病院、飯塚病院
県外病院	2	国立病院機構長崎医療センター、岡山赤十字病院

○聖マリア学院大学大学院

（平成２９年９月・平成３０年３月修了生）

区分	就職者数	主な進路先
県内病院	8	聖マリア病院、誠愛リハビリテーション病院、九州病院、福岡病院

※上記は新卒者のみの数値である。

（社会人学生は除く）

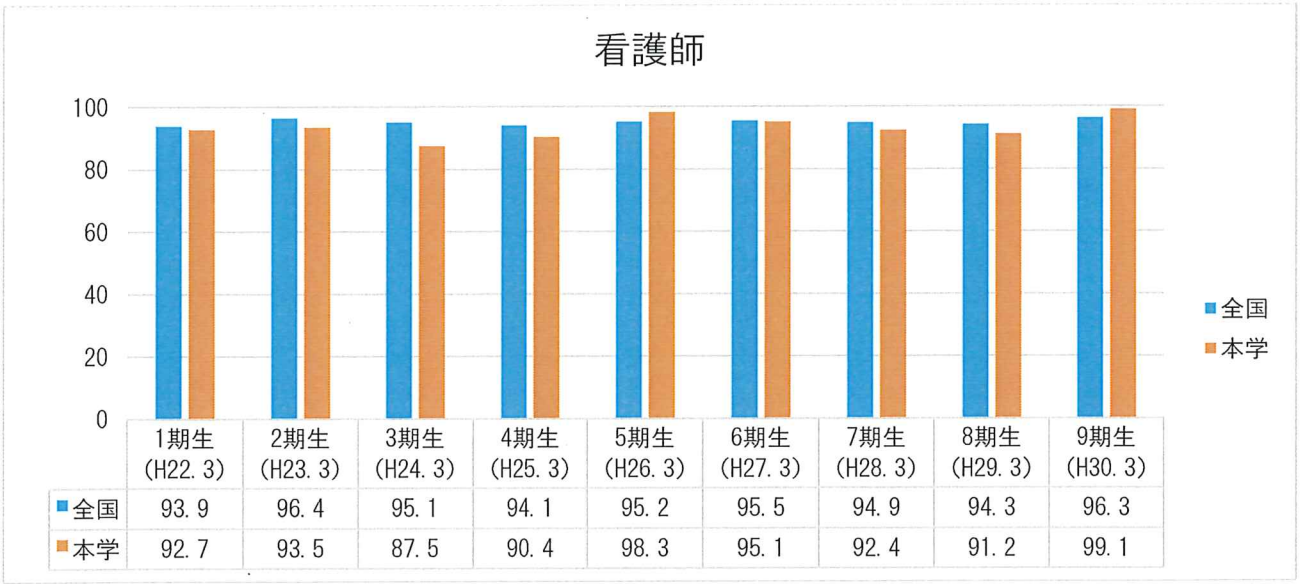
5．国家試験の合格状況

平成３０年２月実施

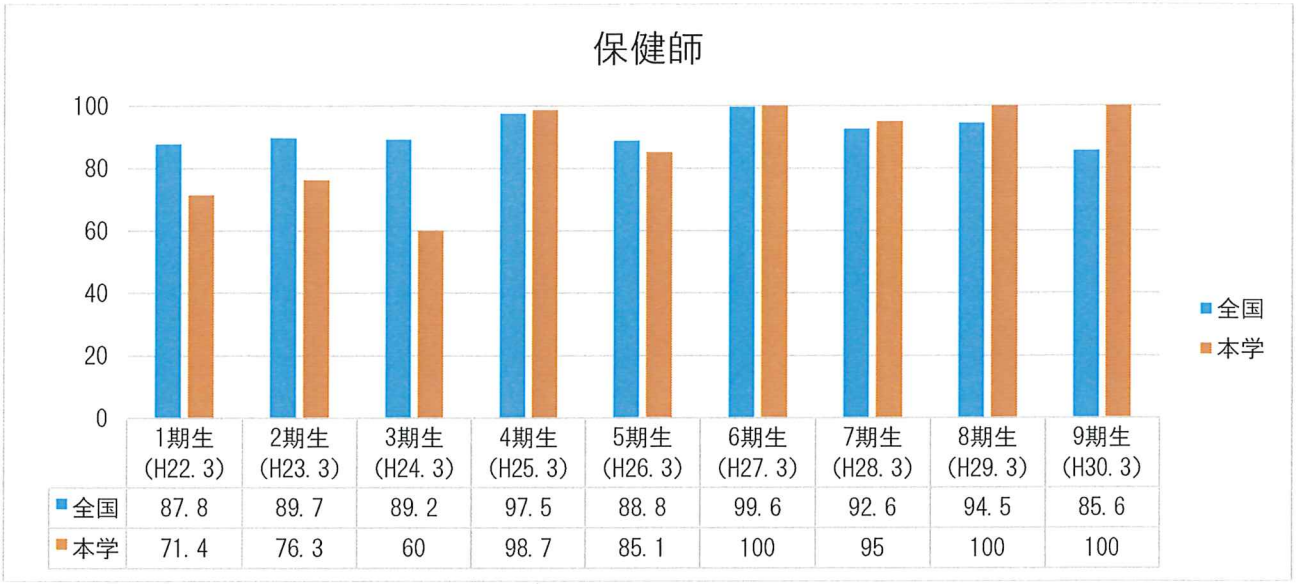
	本学における結果（名） 合格者数 ／ 受験者数	合格率（%） 本学 ／ 全国
看護師	１０８ ／ １０９	９９．１ ／ ９６．３
保健師	１７ ／ １７	１００．０ ／ ８５．６
助産師	９ ／ ９	１００．０ ／ ９９．４

※上記は新卒者のみの数値である。

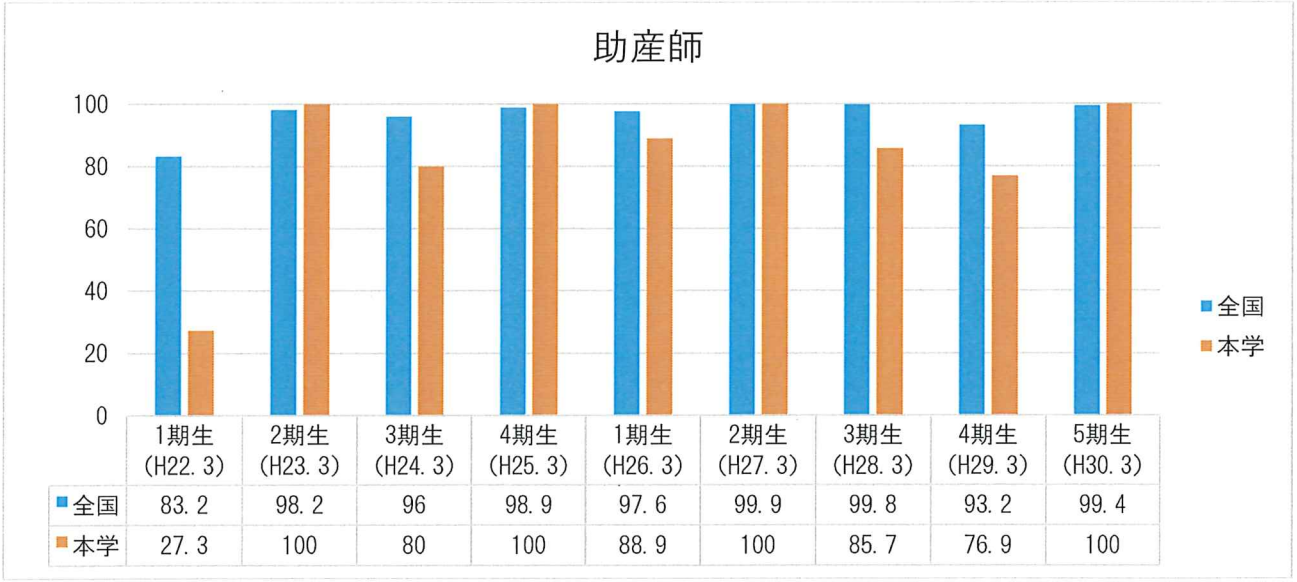
～合格率の推移～



	1期生 (H22. 3)	2期生 (H23. 3)	3期生 (H24. 3)	4期生 (H25. 3)	5期生 (H26. 3)	6期生 (H27. 3)	7期生 (H28. 3)	8期生 (H29. 3)	9期生 (H30. 3)
全国	93. 9	96. 4	95. 1	94. 1	95. 2	95. 5	94. 9	94. 3	96. 3
本学	92. 7	93. 5	87. 5	90. 4	98. 3	95. 1	92. 4	91. 2	99. 1



	1期生 (H22. 3)	2期生 (H23. 3)	3期生 (H24. 3)	4期生 (H25. 3)	5期生 (H26. 3)	6期生 (H27. 3)	7期生 (H28. 3)	8期生 (H29. 3)	9期生 (H30. 3)
全国	87. 8	89. 7	89. 2	97. 5	88. 8	99. 6	92. 6	94. 5	85. 6
本学	71. 4	76. 3	60	98. 7	85. 1	100	95	100	100



	1期生 (H22. 3)	2期生 (H23. 3)	3期生 (H24. 3)	4期生 (H25. 3)	1期生 (H26. 3)	2期生 (H27. 3)	3期生 (H28. 3)	4期生 (H29. 3)	5期生 (H30. 3)
全国	83. 2	98. 2	96	98. 9	97. 6	99. 9	99. 8	93. 2	99. 4
本学	27. 3	100	80	100	88. 9	100	85. 7	76. 9	100

※上記は新卒者のみの数値である。
※助産師国家試験は、平成２５年３月卒業者以前は看護学部の結果、
　平成２６年３月修了者以降は専攻科の結果である。

6．学年暦

４月　１日（土）	学年はじめ
４月　４日（火）	平成２９年度入学式
４月　５日（水）～１０日（月）	新年度オリエンテーション
４月　８日（土）	健康診断
	国家試験フェア（看護学部４年）
４月１１日（火）	前期開講
４月２１日（金）	新入生歓迎行事
７月中旬	前期単位認定試験（看護学部３年）
７月下旬	前期単位認定試験（看護学部１・２年）
８月　１日（火）	夏期休業開始
９月１５日（金）	夏期休業終了
１０月　２日（月）	後期開講
１０月　７日（土）	やすらぎのつどい（看護学部４年）
１０月１４日（土）	召命のつどい（看護学部１年）
１１月　２日（木）	聖マリア合同慰霊祭
１１月１１日（土）	学院祭
１２月　８日（金）	創立記念日（無原罪の聖マリアの祭日）
１２月２２日（金）	第６８回聖マリア医学会研究会
１２月２５日（月）	合同クリスマス
１２月２６日（火）	冬期休業開始
１月１０日（水）	冬期休業終了
１月下旬～２月上旬	後期単位認定試験（看護学部２年）
２月上旬	後期単位認定試験（看護学部１年）
３月　３日（土）	平成２９年度学位授与式
３月１１日（日）～１８日（日）	米国研修旅行

Ⅲ．財務の概要

1．学校法人会計の概要及び企業会計との違い

学校の経営に伴う経理処理については、学校法人会計基準（文部科学省令）により定められており、主要な財務計算書類として「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」及び「貸借対照表」の作成が義務付けられています。

企業の財政構造が、「モノ」を生産・販売することにより投資した資本を回収するとともに利潤を獲得し、獲得した利潤により新たな設備投資や既存の設備の改修が可能となる「生産経済体」であるのに対し、学校法人は、学生が入学することで学納金により収入を確保できる一方、支出が増加した場合、それに見合った収入の増加を図ることが難しい「消費経済体」です。

企業会計の目的が営利目的の事業活動の成果と財政状態を利害関係者に開示するところにあるのに対し、学校法人会計は財政面から学校経営における教育研究活動の健全性を測定し、開示することを目的としています。

	学校法人会計	企業会計
事業の目的	教育研究活動	利潤獲得のための経済活動
財務諸表 （計算書類）	・資金収支計算書 ・活動区分資金収支計算書 ・事業活動収支計算書 ・賃借対照表	・キャッシュフロー計算書 ・損益計算書 ・賃借対照表

以下に、各計算書の概要を記し、平成 29 年度の本法人の決算につきご報告します。

2.「資金収支計算書」の概要

当該会計年度の諸活動に対する全ての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

また、内訳表と併せ会計基準改正により新たに「活動区分資金収支計算書」を添付することになりましたが、これは企業会計でいえば「キャッシュ・フロー計算書」に相当するものになります。

主な収入（科目説明）

学生納付金収入（学生からの授業料・入学金等収入）	：	785,139 千円
補助金収入（国等からの助成金）	：	96,010 千円
前受金収入（翌年度に入学予定の学生からの入学金、授業料等）	：	143,461 千円

収入の部合計　　：　3,305,666 千円

主な支出（科目説明）

人件費支出（教職員に支払われる給与・賞与）	：	520,720 千円
教育研究経費支出（学生の学習支援、課外活動費、教育研究活動費等）	：	184,247 千円
管理経費支出（法人運営に係る費用、学生募集活動費用等）	：	65,854 千円
施設関係支出（土地・建物・構築物を取得するための費用）	：	408,358 千円
設備関係支出（教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書等を取得するための費用）	：	54,687 千円
資産運用支出（将来を見据え資金を積立・運用するための支出等）	：	25,200 千円

支出の部合計　：　3,305,666 千円

資金収支計算書

（単位；円）

資金収入の部		資金支出の部	
科　目	29 年度決算額	科　目	29 年度決算額
学生納付金収入	785, 139, 100	人件費支出	520, 720, 423
手数料収入	11, 096, 650	教育研究経費支出	184, 247, 039
寄付金収入	33, 395, 182	管理経費支出	65, 854, 623
補助金収入	96, 010, 000	施設関係支出	408, 358, 276
資産売却収入	0	設備関係支出	54, 687, 070
付随事業・収益事業収入	21, 556, 840	資産運用支出	25, 200, 000
受取利息・配当金収入	4, 554, 350	その他の支出	29, 202, 802
雑収入	33, 072, 306		
前受金収入	143, 461, 000		
その他の収入	431, 907, 749	［予備費］	-----
資金収入調整勘定	△ 158, 223, 554	資金支出調整勘定	△ 40, 412, 710
前年度繰越支払資金	1, 903, 696, 969	翌年度繰越支払資金	2, 057, 809, 069
収入合計	3, 305, 666, 592	支出合計	3, 305, 666, 592

3.「事業活動収支計算書」の概要

当該会計年度の活動に対する事業活動収入と事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、固定資産の経過年的価値の減少（減価償却額）や将来的な負債を考慮した計算書で、学校法人の財政的な経営状況を表すものです。企業会計の「損益計算書（P/L）」に相当します。

主な収入（科目説明）

寄付金	（学校法人への寄付による収入・事業活動収入の部には現物による寄付も含まれる）	： 33,395 千円
付随事業収入	（学生寮に係る寮費納付金の収入や受託事業の収入）	： 21,557 千円
基本金組入額	（当該年度に取得した施設・設備等の額及び将来に向けて積み立てる額等）	： △82,745 千円

事業活動収入の部合計　：　985,877 千円

主な支出（科目説明）

減価償却費	（既存の建物・土地・備品等の固定資産に係る償却費用）	： 113,961 千円
資産処分差額	（保有資産の除却に係る期末簿価を計上）	： 854 千円

事業活動支出の部合計　：　886,219 千円

基本金組入前当年度収支差額
：　99,657 千円

当年度収支差額　：　16,912 千円

事業活動収支計算書

（単位；円）

収入の部		支出の部	
科　目	29 年度決算額	科　目	29 年度決算額
教育活動収入	980, 270, 078	教育活動支出	885, 365, 502
教育活動外収入	4, 554, 350	教育活動外支出	0
特別収入	1, 052, 315	特別支出	853, 851
		［予備費］	0
事業活動収入	985, 876, 743	事業活動支出	886, 219, 353
		基本金組入前当年度収支差額	99, 657, 390
		基本金組入額合計	△82, 745, 488
		当年度収支差額	16, 911, 902
		前年度繰越収支差額	△225, 310, 162
		翌年度繰越収支差額	△208, 398, 260

４．「貸借対照表」の概要

当該会計年度末の財務状況（運用形態と調達源泉）を明らかにし、財政状態の健全性を表すものです。

企業会計でいえば「貸借対照表（B/S）」に相当します。

固定資産（校地、校舎等建物、及び備品、図書等）	：	4, 266, 319 千円
流動資産（現金及び預貯金等）	：	2, 168, 840 千円
固定負債（退職給与引当金）	：	189, 436 千円
流動負債（未払金、前受金等）	：	192, 215 千円
基本金の部合計（財政的な基盤を示す額、将来への資金）	：	6, 261, 906 千円
繰越収支差額（資産から負債と基本金を差引いた額）	：	△208, 398 千円

貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日　現在　　（単位；円）

資産の部			
科　目	本年度末	前年度末	増　減
固定資産	4, 266, 319, 284	4, 393, 936, 087	△127, 616, 803
流動資産	2, 168, 840, 035	1, 925, 163, 020	243, 677, 015
資産の部合計	6, 435, 159, 319	6, 319, 099, 107	116, 060, 212

負債の部			
科　目	本年度末	前年度末	増　減
固定負債	189, 436, 100	188, 853, 296	582, 804
流動負債	192, 215, 408	176, 395, 390	15, 820, 018
負債の部合計	381, 651, 508	365, 248, 686	16, 402, 822

純資産の部			
科　目	本年度末	前年度末	増　減
第１号基本金	5, 988, 706, 071	5, 525, 960, 583	462, 745, 488
第２号基本金	100, 000, 000	480, 000, 000	△380, 000, 000
第３号基本金	101, 200, 000	101, 200, 000	0
第４号基本金	72, 000, 000	72, 000, 000	0
繰越収支差額	△208, 398, 260	△ 225, 310, 162	16, 911, 902
純資産の部合計	6, 053, 507, 811	5, 953, 850, 421	99, 657, 390
負債及び純資産の部合計	6, 435, 159, 319	6, 319, 099, 107	116, 060, 212

5．有価証券の時価情報

（単位：円）

種　　類	当年度（平成30年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	200,000,000	200,788,770	788,770
（うち満期保有目的の債券）	（100,000,000）	（100,700,000）	（700,000）
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	101,200,000	87,200,000	△14,000,000
（うち満期保有目的の金銭信託）	（　　0）	（　　0）	（　　0）
合　　計	301,200,000	287,988,770	△13,211,230
（うち満期保有目的の債券・金銭信託）	（100,000,000）	（100,700,000）	（700,000）
時価のない有価証券等	―		
有価証券合計	301,200,000		

6．主な施設設備の整備状況

会計区分	内容	金額
建　　物	図書館棟（※前年度からの建物仮勘定あり） 7号館改修工事　他	390,272 千円
構　築　物	図書館棟外構工事	18,086 千円
教育研究用機器備品	図書館棟収容什器備品　他　【388 点】	51,671 千円
図　　書	研究用、図書館用　【958 冊】	2,905 千円

7. 主な事業計画の履行状況

事　業　計　画　内　容	予算措置（千円）	達成度状況
建学の精神の具現化への諸活動	1,000	◎
基本金組入れ（校地取得計画）	20,000	◎
学内公募による教育改革取り組みへの支援	1,000	◎
教育研究活動の活性化	2,000	○
図書館棟新築計画の実施	465,405	◎
包括的キャンパス整備（７号館改修等）	11,200	◎
開学10周年記念行事関係	4,000	◎
継続的な学修支援環境の拡充（ﾘﾒﾃﾞｨｱﾙ教育等）	1,500	○
被災地支援に係る諸活動の継続	1,200	◎
青少年育成、国際保健医療協力に係る寄付金支出	1,400	◎
FRANCESCO PROGRAMなどへの国際交流振興基金の活用	5,000	◎
大学改革推進事業（IR活動、大学ｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰﾀｰ養成他）	2,000	◎
大学院生教育研究助成金	2,000	△
実習体制の充実	1,500	◎

達成度状況　･･･ 予算執行　　(95%以上)　／　◎

予算概ね執行(80%以上)　／　○

執行未了など(80%未満)　／　△

8．大科目の経過年度比較表　－平成25年度～平成29年度－

資金収支計算書

（単位；千円）

収入の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生納付金収入	801, 217	802, 108	815, 499	798, 911	785, 139
手数料収入	15, 422	13, 013	12, 923	11, 900	11, 097
寄付金収入	30, 800	30, 928	31, 219	30, 200	33, 395
補助金収入	235, 902	124, 190	97, 706	113, 768	96, 010
資産運用収入	4, 042	5, 189	6, 094	6, 437	4, 554
資産売却収入	0	0	0	0	0
事業収入	8, 136	17, 961	26, 004	30, 366	21, 557
雑収入	17, 615	36, 046	47, 467	35, 336	33, 072
前受金収入	142, 912	140, 529	140, 265	136, 636	143, 461
その他の収入	185, 261	137, 699	128, 010	245, 393	431, 908
資金収入調整勘定	△271, 413	△178, 004	△184, 381	△171, 897	△158, 224
翌年度繰越支払資金	1, 445, 439	1, 322, 466	1, 590, 019	1, 588, 271	1, 903, 697
収入の部合計	2, 615, 333	2, 452, 125	2, 710, 825	3, 025, 322	3, 305, 666

支出の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費支出	526, 560	569, 708	558, 915	529, 788	520, 720
教育研究経費支出	160, 684	175, 348	264, 065	179, 028	184, 247
管理経費支出	70, 065	73, 219	73, 787	68, 564	65, 855
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	397, 930	8, 667	92, 981	211, 059	408, 358
設備関係支出	28, 398	9, 271	7, 711	8, 679	54, 687
資産運用支出	108, 600	29, 490	124, 800	122, 100	25, 200
その他の支出	28, 936	28, 307	31, 904	31, 609	29, 203
予備費	—	—	—	—	—
資金支出調整勘定	△28, 307	△31, 904	△31, 609	△29, 203	△40, 413
次年度繰越支払資金	1, 322, 466	1, 590, 019	1, 588, 271	1, 903, 697	2, 057, 809
支出の部合計	2, 615, 333	2, 452, 125	2, 710, 825	3, 025, 322	3, 305, 666

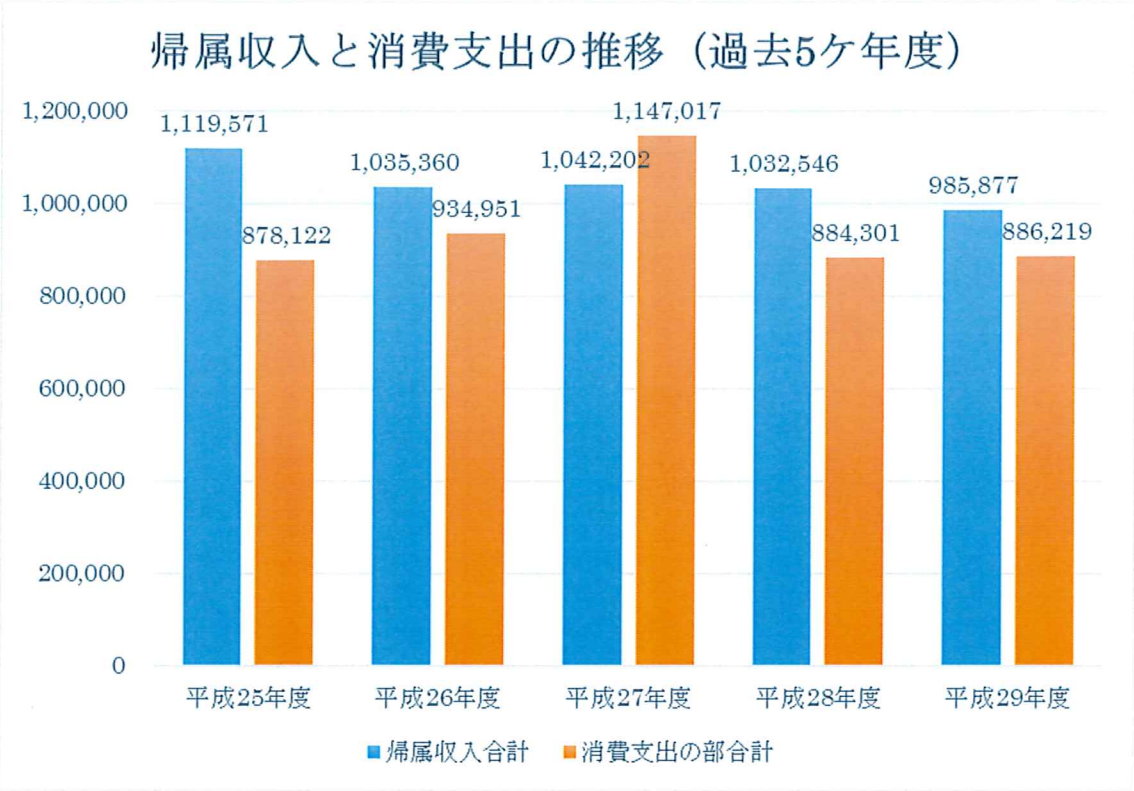
消費収支計算書（事業活動収支計算書）

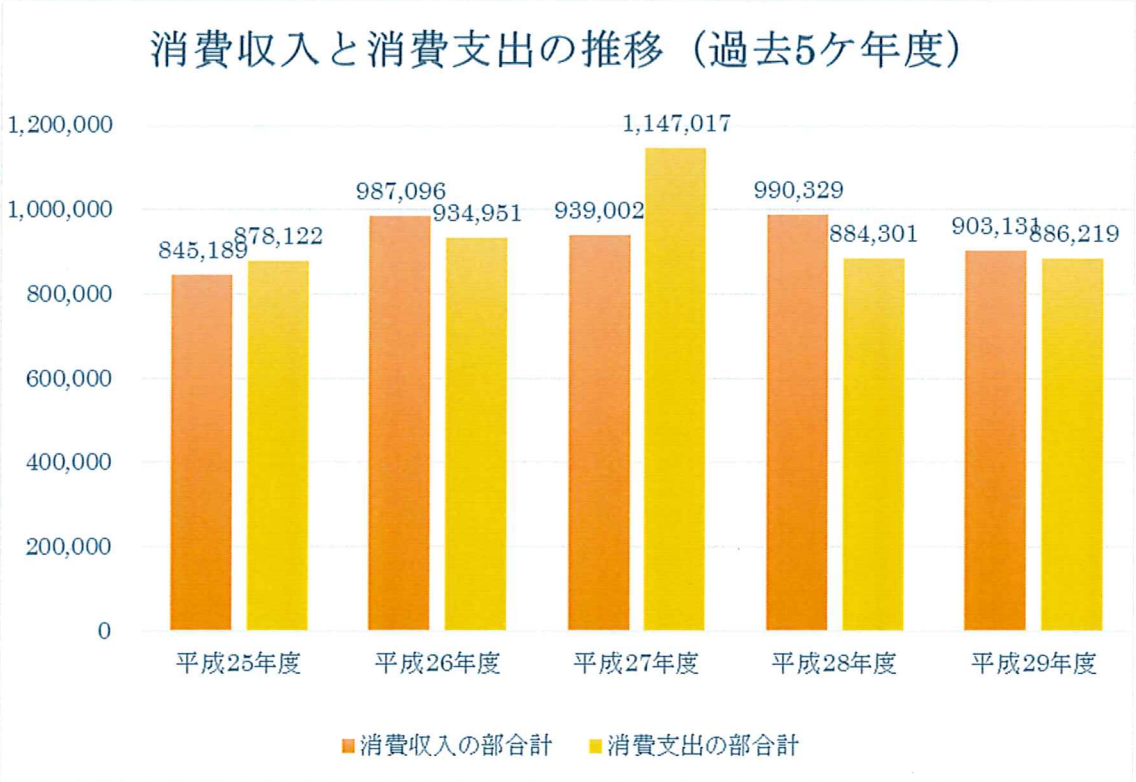
（単位；千円）

収入の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生納付金	801, 217	802, 108	815, 499	798, 911	785, 139
手数料	15, 422	13, 013	12, 923	11, 900	11, 097
寄付金	32, 770	32, 887	32, 515	31, 164	34, 448
補助金	235, 902	124, 190	97, 706	113, 768	96, 010
資産運用収入	4, 042	5, 189	6, 094	6, 437	4, 554
事業収入	8, 136	17, 961	26, 004	30, 366	21, 557
雑収入	22, 082	40, 012	51, 460	40, 000	33, 072
帰属収入合計	1, 119, 571	1, 035, 360	1, 042, 202	1, 032, 546	985, 877
基本金組入額合計	△274, 382	△48, 264	△103, 200	△42, 217	△82, 745
消費収入の部合計	845, 189	987, 096	939, 002	990, 329	903, 131

支出の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費	529, 018	565, 221	571, 182	535, 891	521, 303
教育研究経費	260, 102	276, 982	352, 357	262, 073	278, 834
管理経費	89, 002	92, 578	90, 604	85, 573	85, 228
借入金等利息	0	0	0	0	0
資産処分差額	0	170	132, 875	763	854
予備費	—	—	—	—	—
消費支出の部合計	878, 122	934, 951	1, 147, 017	884, 301	886, 219
当年度消費支出超過額	△32, 933	52, 145	△208, 015	106, 028	16, 912
前年度繰越消費収支超過額	△502, 895	△535, 828	△483, 682	△331, 339	△225, 310
基本金取崩額	—	—	360, 359	—	—
翌度繰越消費収支超過額	△535, 828	△483, 682	△331, 339	△225, 310	△208, 398

【※経年比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作成】





※単位：千円

※帰属収支差額（帰属収入―消費支出）は純資産の増加を表す

貸借対照表

（単位；千円）

資産の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
固定資産	4, 729, 299	4, 652, 889	4, 350, 887	4, 393, 936	4, 266, 319
流動資産	1, 438, 950	1, 613, 063	1, 819, 508	1, 925, 163	2, 168, 840
資産の部合計	6, 168, 249	6, 265, 951	6, 170, 395	6, 319, 099	6, 435, 159

負債の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
固定負債	174, 971	170, 484	182, 751	188, 853	189, 436
流動負債	183, 268	185, 048	182, 040	176, 395	192, 215
負債の部合計	358, 238	355, 532	364, 791	365, 249	381, 651

資産の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
第１号基本金	5, 577, 528	5, 601, 102	5, 310, 743	5, 525, 961	5, 988, 706
第２号基本金	705, 310	730, 000	660, 000	480, 000	100, 000
第３号基本金	0	0	101, 200	101, 200	101, 200
第４号基本金	63, 000	63, 000	65, 000	72, 000	72, 000
基本金の部合計	6, 345, 838	6, 394, 102	6, 136, 943	6, 179, 161	6, 261, 906

消費収支差額の部	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
翌度繰越消費収支超過額	△535, 828	△483, 682	△331, 339	△225, 310	△208, 398
消費収支差額の部合計	△535, 828	△483, 682	△331, 339	△225, 310	△208, 398
負債の部合計、基本金の部及び消費収支差額の部合計	6, 168, 249	6, 265, 951	6, 170, 395	6, 319, 099	6, 435, 159

【※経年比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作成】

９．主な財務比率の経過年度比較表

比　　率	算式（×100）	平成25年度（決　算）	平成26年度（決　算）	平成27年度（決　算）	平成 28 年度（決　算）	平成 29 年度（決　算）
人件費比率 ★	人件費 / 帰属収入	47. 3%	54. 6%	54. 8%	51. 9%	52. 9%
教育研究経費比率 ☆	教育研究経費 / 帰属収入	23. 2%	26. 8%	33. 8%	25. 4%	28. 3%
管理経費比率 ★	管理経費 / 帰属収入	7. 9%	8. 9%	8. 7%	8. 3%	8. 6%
消費支出比率 ★	消費支出 / 帰属収入	78. 4%	90. 3%	110. 1%	85. 6%	89. 9%
消費収支比率 ★	消費支出 / 消費収入	103. 9%	94. 7%	122. 2%	89. 3%	98. 1%
学生納付金比率 —	学生納付金 / 帰属収入	71. 6%	77. 5%	78. 2%	77. 4%	79. 6%
寄付金比率 ☆	寄付金 / 帰属収入	2. 9%	3. 2%	3. 1%	2. 9%	3. 4%
補助金比率 ☆	補助金 / 帰属収入	21. 1%	12. 0%	9. 4%	11. 0%	9. 7%
基本金組入比率 ☆	基本金組入額 / 帰属収入	24. 5%	4. 7%	9. 9%	4. 1%	8. 4%

☆：高い

★：低い値が良い

—：どちらともいえない

【※経年比較のため、新会計基準である平成27年度も旧来の科目に置き換えて作成】

10. 平成29年度決算総評

本年度における事業活動収入計（従前の帰属収入）は、985, 876, 743 円となりました。収入の内訳としては、授業料、入学金等の学生納付金収入が 785, 139, 100 円と約 8 割を占め、ついで補助金収入が 96, 010, 000 円と約 1 割となっております。基本金組入額合計 82, 745, 488 円を差し引いた、903, 131, 255 円が従前の消費収入の数字となります。

支出につきましては、人件費が 521, 303, 227 円、教育研究経費 278, 834, 348 円及び管理経費 85, 227, 927 円などを主なものとして、事業活動支出計（従前の消費支出）として、886, 219, 353 円となっております。いずれも予算を下回り、結果として、基本金組入前当年度収支差額（従前の帰属収支差額）が 99, 657, 390 円となり、平成 29 年度単年度としては良好な収支状態となりました。

本年度の支出における特記事項としては、図書館棟関連が挙げられます。躯体費用である「建物」支出として、381, 854, 000 円（※前年度「建物仮勘定」200 百万円を勘案した建物資産としては 581, 854, 000 円）、同「構築物」支出として、18, 086, 000 円を計上しました。従前より組入れておりました第２号基本金より４億円を充当しておりますので、単年度においても収支バランスは保たれております。

また、書架をはじめとした館内什器も多数購入いたしましたので「教育研究用機器備品」支出として、46, 808, 396 円となっております。

さらなる学修環境の充実に向け、今後も堅実な財政計画とその適正な執行管理により、安定的な収支状況を確保し、財政基盤の健全化に施策的に取り組んでまいります。

学校法人聖マリア学院

聖マリア学院大学　　看護学部／専攻科助産学専攻
聖マリア学院大学大学院　　看護学研究科

〒830-8558
福岡県久留米市津福本町４２２番地
TEL　0942-35-7271（代表）
FAX　0942-34-9125
http://www.st-mary.ac.jp/